

泥火山と泥岩ダイアピル

(Mud volcanoes and shale diapirs)

アンソニー バーバー ・ 脇田 浩二(訳)
A. J. BARBER Koji WAKITA

はじめに (訳者より一言)

1986年8月14日地質調査所で行われた講演(日本の地質の統一的解釈をめざして Towards a Tectonic Synthesis of the Geology of Japan)の際用いたスライドのいくつかを地質ニュースで紹介させていただけないかと A. J. Barber 博士に伺ったところ 快く承諾して下さいましたのでここに紹介いたします。詳しい内容は本文中の講演内容紹介記事 (p. 18~23) を参照して下さい。

ここに掲載したのは 東インドネシアの西チモール (West Timor) で現在活動中の泥火山 (Mud volcanoes) や西チモールやサバに露出しているメランジである。メランジは周囲の地層との関係やブロックの形態から 泥火山を形成するのと同じメカニズムによる泥岩ダイアピルであることを バーバー博士は明らかにした。(以下カッコ内は訳者注)。



↑写真1 ブロックを含むメランジ (泥岩ダイアピル)。クロッカー層。サバ。

Melange block in matrix, Crocker Formation, roadside between Kota Kinabalu and Ranau, Sabah.



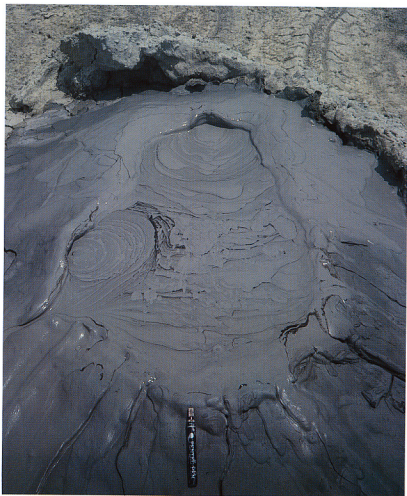
↑写真2 泥火山, 西チモールのブラウセマウ。
Mud volcano, Pulau Semau, nr. Kupang, West Timor.



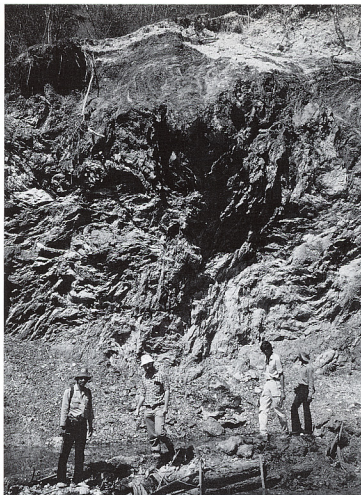
↑写真3 泥火山から 泥やガスが吹き出している (遠くに泥火山がいくつも見えている), 西チモールのブラウセマウ。
Mud and gas escaping from a mud volcano, Pulau Semau, nr. Kupang, West Timor.



↑写真4 小さな泥火山（現在も活動していて 泥が吹き出している）。西チモールのブラウカンピング、Mud volcano, Pulau Kambing, nr. Kupang, West Timor.



←写真5 泥火山の火山口。炭質小片を含んでいる。西チモールのブラウカンピング、Crater of mud volcano with carbonaceous slicks, Pulau Kambing, nr. Kupang, West Timor.



←写真6

泥岩ダイアビル、西チモールのベントウカの川岸。

Shale diapir exposed in a river section, Ben Tuka, between Kupang and Soe, West Timor.

↓写真7 砂泥互層を切っているメランジ（泥岩ダイアビル）、クロッカー層、サバのチャーチカバ。

Melange cuts bedded turbidites, Crocker Formation, Church Kapar, roadside between Kota Kinabalu and Ranau, Sabah.

